

本紙連載中の松村栄子さん

“つくば的世界”を描いて…芥川賞受賞



二月五日 比文学部学生インタビューに答える松村さん

筑波大OBの松村栄子さんが、最新作『至高聖所』で芥川賞を受賞しました。松村さんは、九〇年度に『つくばの海』で『海潮』新人賞を受賞した際、本紙のインタビューに快く応じて下さり、九一年度には本紙に短編小説を連載して下さいました。

今回は、比較文化学専攻の講演会で松村さんが筑波を訪れたのを機に、本紙では受賞作についてインタビューを行いました。また、書評を赤祖父哲二教授（現代文化学系）に書いて頂きました。

「至高聖所」は、私的に筑波大生にならうという人達だか、そういって居る場所だか、そういうところから来たわけではあります。

——至高聖所の中心人物の松村さんが、筑波大生にならうという人達だか、そういって居る場所だか、そういうところから来たわけではあります。

週休二日制の影響は？

いよいよ四月が週休二日制が実施される。本紙のアンケートによれば、六割以上の学生は、週休二日制の導入に賛成している。一方、反対意見も、朝から夕方まで授業がある、午後授業まで行かないと、生活リズムが狂ってしまう、といった声も聞かれた。

——週休二日制の導入は、学生生活にどのような影響を及ぼすか、松村さんはどうお考えですか。

バイトに間に合わない…

時間が増え、バイトの時間が減る。バイトの時間確保が難しくなる。松村さんは、週休二日制の導入によって、バイトの時間が減ることに悩んでいる。

——週休二日制の導入によって、バイトの時間が減ることに悩んでいる。松村さんはどうお考えですか。

中から見た学園都市 両極端なつくばが好き

つくばは、外から見ると、非常に整然とした学園都市の印象を受ける。しかし、中から見たつくばは、非常に多岐にわたる。松村さんは、つくばの両極端な面が好きだと述べている。

——つくばの両極端な面が好きだと述べている。松村さんはどうお考えですか。

「物静か」「テレ屋」松村さんの顔

松村さんは、物静かだが、テレビ番組で活躍している。松村さんの顔は、非常に印象的だ。

——松村さんの顔は、非常に印象的だ。松村さんはどうお考えですか。

「至高聖所」を読む

赤祖父哲二教授（現代文化学系）が、『至高聖所』について書評を寄稿している。書評は、松村さんの作品の特色を詳しく分析している。

——赤祖父教授が、『至高聖所』について書評を寄稿している。書評は、松村さんの作品の特色を詳しく分析している。

「至高聖所」を読む

松村さんの『至高聖所』は、筑波大の学園都市を舞台にした小説である。松村さんは、筑波大の学園都市を、非常に印象的に描いている。

——松村さんの『至高聖所』は、筑波大の学園都市を舞台にした小説である。松村さんは、筑波大の学園都市を、非常に印象的に描いている。

赤祖父哲二教授（現代文化学系）

赤祖父哲二教授は、現代文化学系の教授である。松村さんの作品について、詳しく分析している。

——赤祖父哲二教授は、現代文化学系の教授である。松村さんの作品について、詳しく分析している。

「至高聖所」あらすじ

『至高聖所』のあらすじは、筑波大の学園都市を舞台にした小説である。松村さんは、筑波大の学園都市を、非常に印象的に描いている。

——『至高聖所』のあらすじは、筑波大の学園都市を舞台にした小説である。松村さんは、筑波大の学園都市を、非常に印象的に描いている。

「至高聖所」に一言

松村さんの『至高聖所』は、筑波大の学園都市を舞台にした小説である。松村さんは、筑波大の学園都市を、非常に印象的に描いている。

——松村さんの『至高聖所』は、筑波大の学園都市を舞台にした小説である。松村さんは、筑波大の学園都市を、非常に印象的に描いている。

「至高聖所」に一言

松村さんの『至高聖所』は、筑波大の学園都市を舞台にした小説である。松村さんは、筑波大の学園都市を、非常に印象的に描いている。

——松村さんの『至高聖所』は、筑波大の学園都市を舞台にした小説である。松村さんは、筑波大の学園都市を、非常に印象的に描いている。

「至高聖所」に一言

松村さんの『至高聖所』は、筑波大の学園都市を舞台にした小説である。松村さんは、筑波大の学園都市を、非常に印象的に描いている。

——松村さんの『至高聖所』は、筑波大の学園都市を舞台にした小説である。松村さんは、筑波大の学園都市を、非常に印象的に描いている。

「至高聖所」に一言

松村さんの『至高聖所』は、筑波大の学園都市を舞台にした小説である。松村さんは、筑波大の学園都市を、非常に印象的に描いている。

——松村さんの『至高聖所』は、筑波大の学園都市を舞台にした小説である。松村さんは、筑波大の学園都市を、非常に印象的に描いている。

「至高聖所」を読む

松村さんの『至高聖所』は、筑波大の学園都市を舞台にした小説である。松村さんは、筑波大の学園都市を、非常に印象的に描いている。

——松村さんの『至高聖所』は、筑波大の学園都市を舞台にした小説である。松村さんは、筑波大の学園都市を、非常に印象的に描いている。

赤祖父哲二教授（現代文化学系）

赤祖父哲二教授は、現代文化学系の教授である。松村さんの作品について、詳しく分析している。

——赤祖父哲二教授は、現代文化学系の教授である。松村さんの作品について、詳しく分析している。

「至高聖所」あらすじ

『至高聖所』のあらすじは、筑波大の学園都市を舞台にした小説である。松村さんは、筑波大の学園都市を、非常に印象的に描いている。

——『至高聖所』のあらすじは、筑波大の学園都市を舞台にした小説である。松村さんは、筑波大の学園都市を、非常に印象的に描いている。

「至高聖所」に一言

松村さんの『至高聖所』は、筑波大の学園都市を舞台にした小説である。松村さんは、筑波大の学園都市を、非常に印象的に描いている。

——松村さんの『至高聖所』は、筑波大の学園都市を舞台にした小説である。松村さんは、筑波大の学園都市を、非常に印象的に描いている。

「至高聖所」に一言

松村さんの『至高聖所』は、筑波大の学園都市を舞台にした小説である。松村さんは、筑波大の学園都市を、非常に印象的に描いている。

——松村さんの『至高聖所』は、筑波大の学園都市を舞台にした小説である。松村さんは、筑波大の学園都市を、非常に印象的に描いている。

「至高聖所」に一言

松村さんの『至高聖所』は、筑波大の学園都市を舞台にした小説である。松村さんは、筑波大の学園都市を、非常に印象的に描いている。

——松村さんの『至高聖所』は、筑波大の学園都市を舞台にした小説である。松村さんは、筑波大の学園都市を、非常に印象的に描いている。

「至高聖所」に一言

松村さんの『至高聖所』は、筑波大の学園都市を舞台にした小説である。松村さんは、筑波大の学園都市を、非常に印象的に描いている。

——松村さんの『至高聖所』は、筑波大の学園都市を舞台にした小説である。松村さんは、筑波大の学園都市を、非常に印象的に描いている。

DFI Daiei Finance, Inc.

DFIはビッグなポテンシャルを活かし、金融新時代を切り拓く。

流通系ノンバンクのリーダーとしてのDFI

日本でも金融の自由化というディレギュレーションの潮流の中で、ノンバンクの時代を迎えました。我々の業績がそれを証明しています。1988年2月から1990年2月の3年間に我々の取扱高は433%の成長を遂げました。我々は今後も成長し続けます。我々の成長のキーはFor the Customersの企業理念にあります。旧来型の金融機関である銀行業や保険業は企業サイドに立った金融サービスを組み立てているのに対して、我々は徹底的にお客様の立場に立ってお客様それぞれのライフプランに添った種々金融サービスを提供しているからです。

株式会社ダイエーファイナンス
東京都品川区西五反田7-21-1 1F
☎(03)3495-8501
フリーダイヤル0120-01-8501

■企業概要 ●東証一部上場 ●設立1950年9月 ●資本金247億9000万円(90.11月現在) ●取扱高1兆円(91.2月見込み) ●従業員数1137名(男660、女477)
●事業所 国内:本社他全国主要都市54ヶ所、海外:ロンドン、アムステルダム(現地法人) ●事業内容 総合ファイナンス事業(消費者金融・イナンス事業(個人向け金融サービス)、コーポレートファイナンス事業(企業向け金融サービス)) ●平均年齢29歳 ●最年少管理職30歳

新聞の御用命は…
朝日新聞・日本経済新聞
産経新聞・その他諸新聞

(有)長谷川新聞舗

つくば市天久保3丁目180-1 TEL (51) 0577代表
フリーダイヤル0120-39-0008

BRIDGESTONE

常時高速24時間緊急サービス工場
一般故障車、事故車
24時間(急ぎ時)処理受付

塚田タイヤセンター株式会社
つくば市春日4丁目17-1
TEL 0298-51-4144 FAX 0298-61-4146

☆お買得パック(フレーム+レンズ)
10,000円パック、15,000円パック
☆学生メガネ割引10% OFF
(特価品は除く)

メガネ・コンタクト **プリンス**

筑波学園店 クレオ3階
(ワールドソニック隣り)
TEL 0298(55)0007

つば店

(52)4525
コンタクト 月・木曜日
定検 PM2:30~4:30

忘年会・新年会
クリスマスパーティー
~80名OK

Pub バッカス
Bacchus

55-1801 予約 ☎56-1807

ビデオ制作・企画制作
出張撮影・編集・アフレコ

エムアンドアイ(株)

0298-56-6595
FAX 55-4811

記者・カメラマンが欲しい

つくばがくせいしんぶん
52-4460

つくばがくせいしんぶん
52-4460

